

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回吉川市総合振興計画審議会
開 催 日 時	平成28年12月15日(木) 午後6時00分から 午後8時07分まで
開 催 場 所	吉川市役所 204会議室
出席委員(者)氏名	石阪督規委員(会長)、互金次郎委員、岩田京子委員、 吉川敏幸委員、雪田きよみ委員、小野潔委員、 関根二三代委員、山崎浩幸委員、竹内武委員、鈴木優吾委員、 廣瀬正子委員、関根俊和委員、鈴木真理委員、鈴木庄次委員、 高橋健太郎委員、戸部等委員、石井亮英委員、高野功委員、 泉瑞則昭委員、堀田孝義委員、高崎康男委員
欠席委員(者)氏名	宇野昇委員(副会長)
担当課職員職氏名	政策室長 岡田忠篤 政策室主幹 吉田誠 政策室企画担当副主幹 島村善和 政策室企画担当主査 宮田匡寿 政策室企画担当主任 東原拓哉
会議次第と会議の公開又は非公開の別	[次第] 1. 開会 2. あいさつ 3. 議事 (1) 第5次総合振興計画後期基本計画(素案)について (2) 次回会議日程について (3) その他 4. 閉会 [公開・非公開] 公開
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	
傍聴者の数	1人
会議資料の名称	次第 資料1「ご意見・ご質問シート」における意見・質問事項とその回答 資料2「第5次総合振興計画後期基本計画(平成29～33年度(素案))」 追加資料「議会全員説明会意見要旨」 追加資料「ご意見・ご質問シート」における意見・質問事項とその回答(2回目)
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	廣瀬正子委員、泉瑞則昭委員

その他の必要事項	[その他の出席者(支援業者)] 株式会社地域計画連合 渡邊安奈研究員 青柳朱美研究員
審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
事務局	1. 開会
会長	<p>2. あいさつ</p> <p>事務局より事前に配布された「素案に対するご意見・ご質問シート一覧」を拝見したところ、委員の皆様の意見がほぼ、すべての分野を網羅し、ご意見、ご質問をいただいたところである。他の地域においては、意見・質問が一定の分野に集中してしまうケースが見られる。考え方によるが、比較的バランスよく意見・質問をいただくことができたと感じる。意見・質問の中には、すでに本計画の中で表現されているものや、表現の方法を少し変えていくことで読み込めるものもあると思う。皆様から、新たに意見・質問をいただき、良い計画としたいと考えているのでよろしく願います。本日の進め方としては、事務局より1編から順に説明し、分野ごと意見・質問を伺う形を考えているので、積極的なご発言をお願いします。</p> <p>3. 議事</p> <p>議事開始前に議事録の署名委員として廣瀬正子委員、泉瑞則昭委員を選任。</p>
事務局	(1) 第5次総合振興計画後期基本計画(素案)について 資料1、資料2に基づき説明。 第1編 序論、第2編 社会動向について 【意見・質疑等】 なし
事務局	第3編 後期基本計画 第1章 「市民交流部門」について 【意見・質疑等】
委員	吉川にはベトナム出身の方が多く感じる。第4節において多文化交流における市民の意識を高めていくことは重要である。
委員	全体的な部分となるが、各節下部にある「市民・地域等の取り組み」の記載については、文章の表現が市民全体に対し強要しているようであり、削除した方がよい。
会長	この部分の記載は前期計画に無い部分であり、後期基本計画において「協働」という意味で記載されている。具体的にはどの部分となるか。
委員	第2節において、「男女が家庭や職場、地域社会の活動に対等に参画します。」と記載されているが、できない方も多くいるはずである。以前の資料では、「関連する市民・地域等の役割」となっていたが、今回の表現は主語が市民全員となっており、強要されているように捉えられてしまうとを感じる。

会長	語尾等に工夫が必要と感じる。他の委員はいかがか。
委員	表現については一部工夫が必要と感じるが、「市民・地域等の取り組み」の記載自体を削る必要はないと感じる。
会長	市民全体に対する強要と感じるという意見と、行政主体の取り組みだけを記載するよりは、市民の主体的な取り組みについても記載した方が良いという意見である。他の委員はいかがか。
委員	記載自体は悪くないが、市民がそう思えるような行政側の仕掛けが必要と感じる。良い人権セミナー自体はあっても、周知方法に課題があり参加人数を増やす必要がある。市の努力部分が本計画では見えてこない。行政側からの上から目線であると感じる。第4節においても、国際的な理解は重要と感じるが、地域住民だけではどうしようもできない。市としても生活基盤等の指導についてもしっかりと行っていただきたい。
会長	多文化共生を進めること自体は良いことであるが、問題も生じているということである。担当部局には確認するが、そういった部分についても通常、事業の中で設計されているものである。
事務局	第3節においては、内容を従来と変更する等、参加者の増加に向けた工夫を行っている状況である。具体的な部分であり、なかなか本計画への記載は困難である。
会長	本計画にあまりに細かく記載をすると、全体のバランスを崩してしまうので、素案に、「あらゆる方法を取り入れ様々な機会を通じた啓発活動を推進し」と記載し表現している。担当課の事業レベルの段階でその辺は考えていくものである。今後他の分野においても、そういったことが考えられるが、全体のバランスを考えるとともに、そういった意見については担当課へ事務局より伝えていく必要がある。
委員	例えば、第1節において新たに自治会の情報発信について記載されているが、地域により構成年齢等が異なっており、すべての自治会がHPを立ち上げることについては困難と感じる。例えば、ここを行政側が作成を指導する等が必要となる。
会長	行政側が市民にお願いしている部分もあるが、一方で行政側だけの記載だけでは、行政がこれだけのことをするという計画となってしまうのである。
委員	この部分を「市民・地域・行政の取り組み」としてはどうか。
会長	「市民・地域・行政との協働の取り組み」としても良いのかもしれない。
委員	指標において自治会加入率を上げていくことが記載されており、取り組み部分に自治会と記載されていると、未加入者が市か

	ら疎外されていると感じてしまうのではないか。
会長	自治会という言葉を地域コミュニティ団体とすることも考えられるが、おそらく市としては、自治会等と記載されており、この「等」の部分で読み込んでいると感じられる。
事務局	表現については、検討させていただく。
事務局	第2章 健康福祉部門
委員	【意見・質疑等】 第6節において、「運動をする機会を持ってない人でも参加しやすい環境をつくる。」という部分は何か具体的な考えがあるか。
事務局	来年度に組織見直しを考えており、現在の健康福祉部内にスポーツ振興課を入れ、健康とスポーツの推進を図る予定であり記載したものである。
会長	教育部局より、市長部局へ移管するとのことである。市としては、健康とスポーツの結び付きにより健康寿命を延ばしていくということである。
事務局	第3章 生活環境部門
委員	【意見・質疑等】 第5節の市民・地域等の取り組みに、「ハザードマップの活用」と記載できないか。
事務局	記載については検討させていただく。
委員	雨水に関しては、各雨水ポンプの更新のみならず、木売落としの雨水対策等を念頭に計画しているものか。
委員	今後、木売落としの2層構造化等を検討していると聞いている。
事務局	木売落としの2層構造化については、現状計画を検討している段階であり、計画への記載については担当課に確認する。
委員	今の市民は過去の水害については経験がないものと感じる。過去の被害等をハザートマップとともに、伝えていくことが重要であると感じる。
会長	情報の共有は重要な視点である。
委員	避難困難者について記載ができないか
事務局	避難困難者については、第5節3 (1) ⑨において、「要配慮者」として記載している。
委員	第4節において、環境の保全について記載されているが、内容が意識の高揚となっており、意識の高揚だけでは保全できないも

	<p>のである。一方で第2節においては、公園についての記載のみであり、もう少しアクションの部分を記載できないだろうか。</p>
事務局	<p>ご意見として承り担当課に確認する。</p>
委員	<p>感想として全体を見た際、それぞれの節が課ごとに作られていると感じる。もう少し総合的に施策が束ねられていると良いと感じる。</p>
事務局	<p>これまで庁内全体で検討してきたところであり、今後も引き続き見直しを行っていく。</p>
事務局	<p>第4章 地域振興部門 【意見・質疑等】</p>
委員	<p>昨年消費拡大に向けた取り組みとして、プレミアム商品券事業が全国的に実施された。他市において継続して実施している団体もあると聞いている。吉川市においても補助金を出し実施すべきではないか。また、若年者、外国人に関する就労支援も重要である。</p>
会長	<p>なかなか本計画に「補助金を出します。」とは記載できないのではないか。計画への記載としては、優良企業や中小企業への支援という形となる。</p>
事務局	<p>昨年の補助金は国より一時的な経済的な対策として行われたものであり、市として継続的に行う施策とはならず、記載については困難と考える。中小企業への支援等については、第6節から第7節において記載されている。また、若者の就労に関しては、第8節に記載されている。</p>
委員	<p>農業、商業、工業分野においては、横断的な部分が見えてこない。例えば、観光資源である桜の木の剪定方法が、とても観光資源を大切にしている市のやり方とは思えない。これまでは観光資源として活かそうとか、育てようという視点が無かったと感じる。観光資源は乏しいが、観光の立地をどう作っていくかが重要である。駅前の商業施設の集積と記載されているが、新たな開発として、田園を活かした「農業公園」等の開発はできないだろうか。また、農業の後継者等の育成も重要である。</p>
会長	<p>観光の入込観光客数だけを追っていても意味がないのである。委員の意見は観光の産業化であり重要な視点である。経済効果に繋がるという視点についても考えていく必要がある。観光の産業化という記載をしている自治体はまだ少ないので、この部分についての記載を検討する必要があるのではないか。</p>
事務局	<p>第5節において、農業の拠点づくりとして記載しているが、表現について検討させていただく。</p>
委員	<p>墓地等の開発の規制について記載はできないか。</p>

事務局	ご意見として承り担当課に確認する。
事務局	第5章 教育文化部門
委員	【意見・質疑等】 家庭・地域・学校の連携は重要である。
委員	第3節（4）に、いじめ防止や不登校対策に、「専門性の充実」といった文言を追加いただきたい。
委員	文化部門については、今後教育部局から、市長部局への組織の変更を予定していると聞いたので、他の部門においても記載すべきではないか。
事務局	文化の関連部門を教育部局から市長部局へ組織変更を行うことは、検討段階であり現段階での記載は難しい。
委員	文化に関しては、吉川市には作品の展示を行う場所が無いと感じる。文化施設等の建設について記載いただきたい。
事務局	後期基本計画は5年間の計画であり、文化施設の建設に関する記載は難しい。ご存知のとおり、優先順位的には中学校の建設など教育施設の整備等が優先されるのでご了承いただきたい。
委員	第2節に「魅力ある学校づくり」のような記載はできないだろうか。人数が著しく減少している学校がある一方で、今後プレハブによる教室を増やす学校もあると聞いている。無料の通学バスを作り、学校の選択性を導入し記載してはいかかがか。
委員	学校選択制には反対である。学校は地域と連携することが重要である。他市において廃校となってしまった事例がある。
会長	学校の選択制は過去流行っていたが、近年は廃止している所も増えている。この場での議論は難しい。
委員	近年は知識の無い親が増えていると思うので、家庭学級の充実には努めていただきたい。可能であれば、幼児教育にもっと力を入れていただきたい。
委員	保・幼・小の連携は記載されているが、中1ギャップに対応するために小・中の連携についても記載すべきと感じる。
事務局	ご意見として承り担当課に確認する。
事務局	第6章 行政運営
	【意見・質疑等】 なし
事務局	重点テーマ
	【意見・質疑等】
委員	重点テーマに高齢者に対する記載が必要と感じる。地域包括ケ

	アシシステムの記載等検討いただきたい。
事務局	ご意見として承り表現について検討させていただく。
委員	充実した公共交通について、「新たな公共交通」と記載されているが、何か特別な事業を予定しているか。
事務局	高齢化に向けた公共交通のサービスについて検討している段階である。庁舎移転に伴う市内全域のバス路線の見直し等も必要となる。
委員	職員の人事に関しての意見となるが、是非スペシャリストの育成に努めていただきたい。
事務局	危機管理対策等の専門知識を有している者を今後職員として採用していく方向であり、今後も専門知識を有している職員というのは必要となる。
委員	農業部門の米だけを見た際に、吉川市が近隣市町の食料庫として考えていくことはできないか。
委員	食育分野に「心疾患・悪性新生物による死亡者数を下げる」というのを指標にできないか検討いただきたい。
事務局	ご意見として承り担当課に確認する。
事務局	(2) 次回会議日程について 次回の会議日程は平成29年2月1日 中央公民館 301、302講座室を予定している。
事務局	(3) その他 今後策定される教育大綱やご意見ご質問シートを活用しながら広く意見を集約してまいりたい。また、本日頂いたご意見をもとに反映した後期基本計画（案）について平成28年12月20日から平成29年1月17日までパブリックコメントを実施する。
	4. 閉会
以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。	
平成28年12月28日	
署名委員 廣瀬 正子	署名委員 泉瑞 則昭